

## 私のすすめるこの1冊

荻野雄(社会科学科 准教授)

『作ることの日本近代 一九一〇 — 四〇年代の精神史』 伊藤徹 編

自分が参加した本をお薦めするのは恐縮ですが、つい先頃(2010年10月)出版された作品でもあり、告知を兼ねてここで紹介することをお許してください。

編著者である京都工芸繊維大学教授の伊藤徹は、長く京都教育大学で哲学を講じてきました。なお本学で教鞭を執っていた2003年に発表した『柳宗悦 手としての人間』(平凡社)で、伊藤は自身の哲学的立場を鮮明に打ち出しており、それがこの論集の基礎的な問題設定ともなっています。

人間は、世界に存在する色々なもの、つまり「自然」を素材とし、そこから様々な物たちを作り出しています。人間と世界との関わりの基本は、常にこうした「作ること」だったのですが、近代に入るとそれは、或る変異を経験しました。自身を「自律した主体」と考え始めた人間は、一方向的な自然支配に乗り出し、その結果「作ること」は、世界の一切を人間にとって有用なものに、個人の利益のための手段に作り変えることを目指すようになったのです。しかしこの「有用性」の徹底化は、やがては人間自身にも及び、最終的な目的であるはずの個人をも、手段の地位に引きずり下ろしていくことになりました。有用化の進展の果てに自ら

手段とされてしまう人間は、露わにされた自身の根のなさに強い不安を覚え、空位となった目的を埋めるため、しばしば集団やイデオロギーなどの「神話」を持ち出します。とはいえそれらとて、根拠の薄弱さのためとうてい確かな支えであり続けることはできません。こうして、近代的な作ることが現出させた有用性の連関は、目的の絶対的不在のために、全体として無意味なものとして崩落しつつあるのです。

今日の思想の課題は、何らかの神話で空虚を隠蔽することなく、有用性のこの自己解体の場に留まって、浮かび上がってくる「意味の光の届かない茫漠たる広がり」を感じながら、人々はそこでいかに共に生きていくべきかを問うていくことでしょう。本論集では、こうした伊藤の問題提起を受けて、様々な分野の研究者がそれぞれの領域で、先駆的にこうした問いに取り組んだ1910~40年代の日本の知識人と、歴史的な対話を試みています。哲学のみならず、文学、芸術、教育学(本学の岡部先生が執筆されています)、建築、政治思想など多彩なトピックが扱われていますので、ご関心のある部分だけでもお読みいただければ幸いです。

『作ることの日本近代 一九一〇 — 四〇年代の精神史』 編者:伊藤徹

発行者:世界思想社 発行年:2010年 ISBN:9784790714958 2625円 購入手続き中

# 第15回 教科書展 暫定教科書編

## — “折りたたみ教科書” に見る戦後教育の幕開け—

第15回教科書展を下記のとおり開催します。

期間:平成22年11月5日(金)~11月25日(木)

ただし、11月7日、21日、23日は休館。14日は藤陵祭のため教科書展のみ開館

時間:10:00~16:00

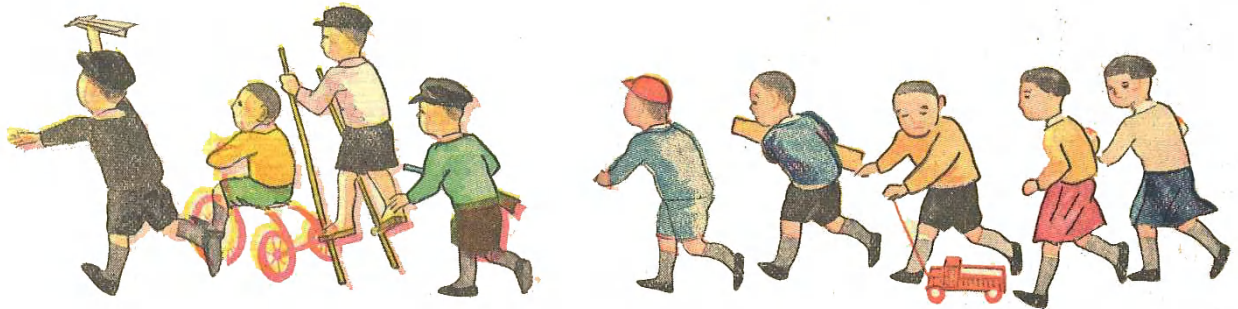
場所:京都教育大学附属図書館 1階ロビー (無料)

平成8年の京都教育大学120周年を記念して開催された教科書展は、その後も毎年開催され、今年で15回目を迎えました。初等教育の国語教科書から始まり、毎年科目ごとに展示してきましたが、今年は少し趣向を変え、「暫定教科書」にスポットを当てて展示いたします。

暫定教科書とは、第二次世界大戦後の新しい教育方針に基づいて、文部省による検定教科書が使用されるまで暫定的に使用された教科書のことです。しかし終戦直後で十分な物資が無く、新聞紙大の紙に印刷され、裁断・製本せずに配布されたものを折りたたんで使用したため、「折りたたみ教科書」とも呼ばれました。

今回の展示では、戦時中の国定教科書と戦後の暫定教科書・検定教科書を対比するとともに、暫定教科書のレプリカを用意し、実際に広げてご覧いただけるようにしております。

戦後の教育事情の一端を知る展示として、ぜひお誘いあわせの上お越しください。



同時実施予定

### 除却図書・雑誌の無償譲渡を行います

当館では、書庫の狭隘化に伴い、重複図書や保存年限の過ぎた一部の雑誌等の除却を行っております。除却した図書・雑誌は欲しい方に無償で差し上げますので、ぜひお持ち帰り下さい。

掘り出し物が見つかるかも！



# 図書館からのお知らせ

## 論文検索収集法講座 11月も開催中！

国内雑誌論文の検索データベース「CiNii(サイニー)」を使って、論文の探し方や入手の仕方を教える講座を開催します。これからレポートや論文を書こうという方、ぜひご参加ください！

集合場所：附属図書館 1階カウンター

所要時間：約30分(雑誌探索実習オプションを付けると、計60分程度)

開催日時：11月2日(火) 11:30～ 11月4日(木) 15:00～

11月17日(水) 15:00～ 11月19日(金) 15:00～

11月22日(月) 15:00～ 11月25日(木) 11:30～

各回4名まで。上記の日時で都合がつかない場合は、ご相談下さい。



## 製本中の雑誌があります

現在、一部の雑誌について、複数の巻号をまとめて合冊する製本作業を行っています。2009年度を中心に、利用できない巻号がありますのでご注意ください。製本中かどうかは、OPACで確認することもできます。

### <OPACでの確認方法>

巻号の数字をクリックすると各巻の詳細情報が表示されます。「状態」欄が“製本中”の巻号は現在利用できません。※クリックしても、未製本や製本中の巻号が表示されない雑誌もあります。詳しくは図書館員に確認して下さい。

保健の科学  
1巻1号(昭34.1)- - 杏林書院, 1959. <ZV

一括所蔵一覧  
12件の一括所蔵があります。

No.	配置場所	配置場所2	巻号
0001	雑誌書庫	和雑誌 新着分は北館2F雑誌閲覧室	1(5-12), 2-4, 5(1-8), 6-25, 33(3-12), 34-51, 52(1-8)+
0002	研究室配置雑誌		26-48

## ～ 図書館開館スケジュール ～

2010年 11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	●	●	休	●	●	▲
7	8	9	10	11	12	13
休	●	●	休	●	●	▲
14	15	16	17	18	19	20
休	●	●	●	●	●	▲
21	22	23	24	25	26	27
休	●	休	●	●	●	▲
28	29	30				
休	●	●				

2010年 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			休	●	●	休
5	6	7	8	9	10	11
休	●	●	●	●	●	▲
12	13	14	15	16	17	18
休	●	●	●	●	●	▲
19	20	21	22	23	24	25
休	●	●	●	休	●	休
26	27	28	29	30	31	
休	▲	休	休	休	休	

### <カレンダーの見方>

日付	9:00～21:00
●	
日付	9:00～17:00
▲	
日付	休館日
休	

11月10日、12月1日は館内整理のため休館

冬季休業のため12月27日は17時閉館、12月28日～1月4日は休館

## 子どもから見た家庭の食卓風景と健康 ～動的家族画での検討～

井上文夫・石塚智恵子・浅井千恵子・藤原寛

井上文夫(体育学科 教授)

京都教育大学紀要 No. 116 p. 113-121 2010年3月

核家族化、母親の就労、ファーストフード、保存食、惣菜産業の成長などにより、食を取り巻く環境が大きく変化している中で、家庭の食卓も変化を余儀なくされている。こういった食環境の変化に伴い、家族にとっての「食卓」の持つ意味が変化し、家族団欒の時間が次第に失われつつある。子どもたちにとっては、「食卓」は単に食べる場だけではなく、家族とのコミュニケーションの場でもある。この論文は、動的家族画の手法を用いて、「家族の食卓風景」と、生活習慣、健康状態との関連を検討したものである。

公立小学校の5年生の1クラス33名を対象として、全員に、朝食風景とコメントを描いてもらった。描画後に、学校給食、食意識、日常生活、心身状態について調査した。家族画の分析では、表情や動きがなく安定感のない絵ほど、自信のない表現をする割合が高く、使用する色の数も少なく、描かれている人に親がいない、一人だけの割合が高く、絵の表現や内容が心の状態を反映していると考えられた。

アンケート調査では、朝食はほぼ全員摂取していたが、だるい、疲れる、肩がこる、イライラする、眠いなどの不定愁訴症状は、比較的高頻度にみられ、因子分析により、精神的状態、身体的状態、意欲の状態の3つに分けることができた。これら3つの状態と食生活との関連をみたところ、夕食の夕食頻度が高いほど精神的状態、身体的状態とも不良である傾向がみられた。このことから、夕食を家庭で家族と一緒に食べることの重要性が確認され、食事の持つ栄養素以外の要素の健康への影響が明らかになった。一方、家族画の内容や表現とこれらの症状との関連では、表現内容や色の数は精神的状態や身体的状態と有意な関連が見られた。

動的家族画は子どもたちの食環境や心理状態を知る有力な手掛かりになり、食育の授業などで利用できると考えられた。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要 116号に掲載されています。

京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>からも閲覧可能です。

●京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

下記のQRコードからもアクセスできます



京教図書館 News No. 122 (2010年11月号)

発行日:平成22年11月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

内容に関するお問い合わせ先: [library@kyokyo-u.ac.jp](mailto:library@kyokyo-u.ac.jp)